



決算説明補足資料

2021年11月期 第2四半期



株式会社ラクト・ジャパン



1	連結業績概要	P.3
2	事業別売上高推移	P.4
3	事業別取扱数量推移	P.5
4	連結貸借対照表	P.6
	参考資料（為替リスクについて）	P.7

1. 連結業績概要

(単位：百万円)

	2020.11期 2 Q	2021.11期 2 Q		
		実績	増減額	増減率 (%)
売上高	57,912	52,648	△5,263	△9.1
経常利益	1,433	1,412	△21	△1.5
売上高経常利益率 (%)	2.5	2.7	-	-
(経常利益に含まれる為替影響額※)	(17)	(△59)	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,040	1,010	△29	△2.8
売上高当期純利益率 (%)	1.8	1.9	-	-
1株当たり四半期純利益 (円)	105.81	102.52	△3.29	
為替レート (円/USD)	108.55	106.65	△1.90	
為替レート (円/EUR)	119.33	128.73	9.40	

(注) 財務数値の表示は端数切捨て。

※ 経常利益に含まれる為替影響額：当社は為替予約の会計処理について原則的な方法を採用しており、各利益段階において為替変動による影響を受けることがあります。仕入計上がされているものの、売上計上時期が翌四半期に行われた場合には、営業外収益に為替差損益のみが先行して計上され経常利益に反映されることがあります。

2. 事業別売上高推移

(単位：百万円)

	2020.11期				2021.11期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	通期予想
乳原料・チーズ	20,061	19,866	19,997	18,405	17,090	19,861	81,470
前年同四半期比	△5.0%	△7.9%	△9.6%	△9.8%	△14.8%	△0.0%	4.0%
食肉加工品	2,900	3,206	2,674	3,113	3,116	3,653	12,990
前年同四半期比	△1.4%	1.4%	△16.1%	4.2%	7.4%	13.9%	9.2%
アジア（乳原料販売）	4,411	5,726	3,614	3,272	2,829	3,980	15,640
前年同四半期比	47.4%	32.8%	△2.6%	△34.7%	△35.9%	△30.5%	△8.1%
アジア（チーズ製造販売）	680	672	683	858	801	887	3,120
前年同四半期比	3.3%	7.3%	0.7%	25.0%	17.9%	32.0%	7.8%
その他	167	218	182	122	156	270	-
前年同四半期比	△8.8%	36.3%	42.2%	△22.4%	△6.5%	24.0%	-
売上高合計	28,221	29,690	27,152	25,772	23,994	28,654	115,000
前年同四半期比	1.2%	△0.5%	△9.0%	△11.9%	△15.0%	△3.5%	3.8%

(数値の表示は端数切捨て)

3. 事業別取扱数量推移

(単位：MT)

	2020.11期				2021.11期		
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	通期予想
乳原料・チーズ	49,413	48,880	47,240	46,040	43,141	48,852	192,431
前年同四半期比	△0.7%	△2.9%	△10.6%	△10.0%	△12.7%	△0.1%	0.4%
食肉加工品	5,220	6,232	4,690	5,781	5,736	6,831	25,210
前年同四半期比	4.7%	12.8%	△19.2%	10.9%	9.9%	9.6%	15.0%
アジア (乳原料販売)	14,676	20,244	13,360	11,877	9,918	12,771	52,920
前年同四半期比	29.9%	22.0%	△3.6%	△34.7%	△32.4%	△36.9%	△12.0%
アジア (チーズ製造販売)	1,014	969	965	1,248	1,120	1,213	4,593
前年同四半期比	16.0%	4.2%	4.0%	24.2%	10.5%	25.2%	9.4%

(数値の表示は端数切捨て)

4. 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	2020.11月末	2021.5月末	増減額
流動資産	40,623	43,797	3,174
現金及び預金	5,004	5,273	268
受取手形及び売掛金	13,849	14,569	719
棚卸資産	21,383	23,387	2,003
流動資産その他	386	567	181
固定資産	2,746	2,754	8
有形固定資産	690	691	0
無形固定資産	20	22	2
投資その他の資産	2,035	2,040	5
資産合計	43,369	46,552	3,182
買掛金	9,739	11,045	1,305
有利子負債	14,314	15,315	1,001
負債その他	1,724	1,471	△252
負債合計	25,777	27,831	2,053
純資産	17,592	18,720	1,128
負債・純資産合計	43,369	46,552	3,182

(財務数値の表示は端数切捨て、内訳は主要項目のみ記載)

主な増減要因

棚卸資産の増加

国産原料の需給緩和対策事業に関連した商品およびT P P / E P A 枠を使用した顧客向け商品の増加。

買掛金の増加

棚卸資産の増加理由と同様、顧客向けの商品購入の増加による。

有利子負債の増加

運転資金の増加に伴い、調達手段の多様化を図り、短期借入金を減らすとともにCPを発行。

参考資料
(為替リスクについて)



当社は基本的に為替リスクを負わないビジネスモデル。

海外仕入先との外貨建て仕入契約締結と同時に、国内顧客と円貨の販売契約を締結。
その際、仕入外貨額に対する為替予約をすることで為替リスクをヘッジしている。

但し、当社は会計処理基準における原則法を採用しているため、会計上の表示が特徴的。

売上総利益と営業外損益（為替差損益）の表示に常に影響。

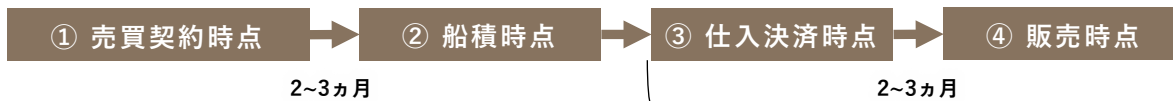
決算期末をまたぐ取引（翌期以降に販売）は期間損益の表示に影響が発生。

□ 表示の特徴

取引の段階に応じて、計上に使用する為替レートが異なるため、取引の途中段階において、為替差損益が生じる。
最終的には当初の為替レートにより計上された売上・売上原価になるので実質的な利益に影響はないが、
売上計上前の取引の途中段階においては

- ① 売上総利益と営業外損益の表示に影響するほか、
- ② 計上が期間をまたがることにより、期間損益に影響する。

為替レートが変動しても、実質的な利益には影響しない



処理	① 売買取引時点	② 船積時点	③ 仕入決済時点	④ 販売時点
	為替予約（①時点レート） ※同時期に行う処理 ・仕入先と外貨建て契約 ・販売先と円建て契約 =実質的な利益確定	仕入計上 =実勢為替レート (②時点レート)	①と②時点の 為替変動差を 為替差損益 として計上	売上計上 (①時点で契約した 円建金額)

取引終了時(④まで終了)
 ④の販売まで終了した時点では、①～④時点の処理が通算され、①時点の**実質的利益及び実質的原価と同額が会計上も計上**される。

取引が途中で決算をむかえた場合
 ③時点と④時点の間に期末をむかえた場合、先行して、為替差損益(営業外)が計上される。



③時点では為替差益が営業外利益として先行して計上。
 ①時点の為替予約の金額より、②時点の仕入価格が高くなるため



③時点では為替差損が営業外損失として先行して計上。
 ①時点の為替予約の金額より、②時点の仕入価格が安くなるため

ご注意事項

本資料には、当社の戦略や見通しなど将来の業績に関する記述が含まれております。これらは現時点における当社の判断に基づくものであり、リスクや不確実性を含んでおります。経営環境の変化など、さまざまな要因により変更されることがあります。あらかじめご了承ください。